第 88 回まちづくり審議会議事録

日時：令和 4 年 8 月 17 日（水）午後 1 時 15 分から 3 時まで
場所：長岡京市役所南棟 3 階　第一委員会室
出席委員：大田委員、大越委員、岡井委員、原田委員、佐伯委員、中小路委員、坂本委員、横山委員、髙橋委員
欠席委員：澤田委員
幹事：滝川総合政策部長、木村環境経済部長、八木建設交通部長、井上まちづくり政策室長
事務局：廣課長、西小路係長、小橋技師、下澤長岡天神駅周辺整備担当主幹
傍聴者：なし
議事：
1.開会

- 開会、審議会の成立、及び傍聴者の報告（以上事務局より）
- 委嘱状の交付
- 中小路市長のあいさつ

会長の選出

- まちづくり審議会規則第 4 条の規定に基づいて大田会長、佐伯会長代理を選出
- 会長あいさつ

2.議事（要約版）
（1）　長岡天神駅周辺の群景観における景観形成基準について（諮問）

- 事務局より長岡天神駅周辺の群景観における景観形成基準について説明。
- 専門部会の設立、専門部会委員としてまちづくり審議会より 3 名の選出後、審議に入る。

（委員）
景観専門部会について、デザイン審査会の構成メンバーがその内の 5 名ということですが、デザイン審査会の構成メンバーを教えて下さい。

（事務局）
デザイン審査会の委員は、建築や色彩、植栽、土木景観というような専門の方で構成されております。

（委員）
市民目線ですが、色のマンセル値について、西山の眺めや周囲の景観、調和の配慮ということで、推奨カラーを助言・指導とありますが、マンセル値の明度や彩度の推奨値の中で高層ビルを建てなければいけないというか、これから少しでも、1 コマでも外れると許可が下りないということもあるのですか。

（事務局）
現状の基準は景観計画の基準としています。その中で西山への眺め等を考えた上でより調和を図れる色

彩として、推奨カラーというものを示しております。ただもちろん外れるようなこともございまして、できる限り推奨に近づけるようにご検討いただき、その結果景観的に適合しているか判断をさせていただいております。

（会長）
先ほどのご意見を踏まえて、景観専門部会のほうでご検討いただくようにお願いしたいと思います。その際には、色彩を推奨カラーというふうに絞った時の景観がどのようになるのか、逆に推奨しないカラーで統一した時にどのように景観が見えるのかといったことを比較検討いただくなど、市民や事業者にも理解できるような検討もお願いできればと思います。

（2）長岡天神駅周辺整備の進捗状況について（報告）
事務局より長岡天神駅周辺整備の進捗状況について報告後、質疑に入る。

（委員）
　駅近くに高層の建築物ができてますので、駅周辺は今いろんな変化が進んでいる。それが今後の計画に支障はないのか。既存のものが優先になってしまい、先手必勝のような状態になるのではないか。

（事務局）
　いま西側には一体的なエリアでまちづくりを考えているとお示ししましたが、その中で新規の高いマンションが 2 棟建つというようなことが現実に進んでおります。ですので、早期に、特に西側は全体的なまちを考えて、アクセス道路や駅前広場など、土地の建物の集約化・高度化というものを一緒に考えていくのであれば、早い段階で建築規制をかけたほうがいいのではないかというお声をいただいているというのも、事実としてあります。以前まちづくり審議会のほうでも少しご意見をいただきましたが、長岡天神駅周辺の建築規制を早い段階でかけていくということで検討を並行して進めているところです。

（委員）
　今建築中のものは高さ制限なしの所に建っているということでしょうか。

（事務局）
　駅の線路沿いの西側については、高さ規制はありません。長岡京市は商業的な用途地域、あるいは工業的な用途地域という、商業と工業の土地利用をする所については従前から高度規制がありません。一定高度利用が前提となっている用途地域ですので、そういった所で規制をかけていないという背景がございます。

3.閉会